



# か え で ゆ う び ん 1 月 号



2023 年 1 月 1 日  
社会福祉法人 清松学園  
幼保連携型認定こども園  
か え で 保 育 園  
園 長 引地 美津代

## 先生のメッセージ

去年もランキング形式で、かえで保育園の美味しいメニューを紹介したのですが、新しく登場したメニューもあるので改めて紹介させていただきます。

～ごはん部門～

ちくわ天うどん…サクサクちくわの磯部揚げがお出汁との相性が抜群です。

グラタン…マカロニが入ったクリーミーなあつあつグラタンです。

上に乗ったパン粉がサクサク感を演出し、食感も楽しめます。

チキンカレー…柔らか鶏肉と甘めのルーのコラボレーションが最高！

いつもよりも多めにご飯を盛ってしまうメニューです。子どもたちからもおかわりの希望が多いです。

～おやつ部門～

手作りクッキー…「今日のおやつはクッキーだよ」と伝えると一番歓が上がるメニューです。サクサクとしっとりが共存した究極の1品です。スイートポテト…ホクホクのサツマイモと温かいうちに食べるともっと美味しいです。

リンゴのカップケーキ…ふわふわの生地にかく細かく切られたリンゴが練り込まれています。

保育園のご飯を家でも再現してみたいと思い、野菜部門の上位にランクインしている「白和え」の作り方を栄養士の先生から教わり、作ってみました。あまり自炊は得意でないですが、これからは好きなメニューを中心に、栄養たっぷりなかえでの美味しいご飯を家でもつくってみたいと思います。毎日「今日のお昼ご飯は何か？」と子どもたちと一緒に予想するのも、午前中の楽しみです。これからも、食の楽しさを一緒に感じられるよう関わっていきます。

保育教諭 R・K

新年明けましておめでとうございます。皆様どんなお正月をむかえられましたか。さて「笑う門には福来る」ということわざがあります。私はいつも楽しく笑って過ごせたらいいなと日々過ごしています。笑うという事は、ストレス解消や脳を活性化するなど様々な健康効果があるようです。大学生の息子の部屋から笑い声が聴こえてくると、すごく嬉しい気持ちになります。自分にとって一番嬉しいことは何だろうと考えました。それは隣の人が笑顔になってくれる事です。今年もかえ保育園の子どもたちの笑顔が沢山見れるように明るく楽しく保育していきたいです。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

保育教諭 N・K

## おねがい

- ・12月29日から1月3日までは園は休園となります。緊急時は携帯にご連絡してください  
**080-9500-1997(園長携帯(8時～20時までの対応となります))**
- ・**登園前の予防接種、病気のための受診後の登園は控えてください。予防接種をした後は必ず健康観察のため園にお知らせください。**
- ・1月20日(土)西宮私立保育協会主催の職員新年の集いおよび全体研修に職員が参加します。家庭保育のご協力をお願いします。(保育は13時までとなります)

## おしらせ

### 1月の予定

- ・12月29日～1月3日 冬季休めで園は閉まります。
- ・4日(木)5日(金)お弁当日(厨房メンテナンスのため)
- ・12日(金)西宮市監査
- ・16日(火)ひかり・だいち 雪あそび ～六甲スノーパーク
- ・24日(水)誕生会・月例健診
- ・絵画17日(水)・26日(金)
- ・体操11・18・25日(木)※4日はお休み

### クラス懇談会

- ・めばえ組：1月15日(月) 16:30～18:00
- ・ふたば組：1月22日(月) 16:30～18:00 (0・1歳児クラスのお子さまは同席となります)
- ・つぼみ組：1月29日(月) 16:30～18:00
- ・いぶき組：1月19日(金) 17:00～18:30
- ・ひかり組：1月12日(金) 17:00～18:30
- ・だいち組：1月26日(金) 17:00～18:30 (つぼみ・幼児のお子様は別の保育室で保育を行います)

### 2月の予定

- ・9日(金)全園児お弁当日
- ・17日(土)2024年度 入園説明会
- ・2月22日(木)博物館・ミュージアム見学(ひかり・だいち)  
**だいちぐみの保護者の方のみ、酒蔵見学(2名)に参加できます。**  
詳細は後日お知らせします。

2023 年度、新年あけましておめでとうございます。  
例年になく暖かい年初めになりました。今年も『子どもたちにとって』を大切に、保育教育を進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

制限のないお正月、皆さんはどう過ごされたでしょうか？

12 月末に幼児の部屋から「もういくつ寝るとお正月～」と歌声が聞こえてきました。担任から2 番の歌詞の♪おしょうがつにはまりついておいばねついて遊びましょ♪の追羽根が何か説明できない・・・と話がありました。

そういえばお正月の風物詩「羽子板」で遊ぶ光景を見なくなったな～と。追羽根と書いても若者には??だと思えます。日本の文化がまたうすれてきている・・・と感じました。「おいばねついて～とは、羽子板できれいな羽について落とさないように遊ぶことだよ」と言いながら、続いて羽子板についてもついつい語ってしまいました。昔のお正月遊びは、福笑いやすごろく、外ではコマ回しや羽子板などして新年を皆で迎えるのがお正月だったし、親戚中で過ごすことが当たり前で久しぶりに会うおじさんやおばさんからお年玉をいただき、皆でおせちをいただき、暖かい屋に皆で羽子板やコマであそぶ・・・がお正月の過ごし方でした。

昭和・平成・そして令和に時代が移り変わり、人の流れも時間の使い方も合理的で便利になり、何不住なく過ごせる世の中になっていきましたが、ゆっくり時間を楽しむ・物を分かち合うなどのゆとりがどんどんなくなってきている今にふっと立ち止まることも必要なのでは?と  
思ってしまう。そして日本の文化もしかすると外国の方々の方が日本の文化を愛し、見てみたい・食べてみたいと興味をもって日本に触れてくれている機会が多いのかも・・・と思います。

かえで保育園の保育方針にも「日本の文化の伝承」を掲げています。玄関の「杉玉」や園での遊び(下駄をはく・竹馬・草木染等・又、食育でもこの国で食べる食べ物や調理方法(出し汁・季節の行事の食べ物)・その時期にしか感じたり見たりできない出来事などを大切に保育の取り組みを進めています。

園児のおじいさん・おばあさんも年齢層がどんどん若くなってきています。このことは次世代に引き継いでいけたら・・・と思う事柄がありましたら、是非お知らせ頂ければ嬉しいです。

1 月 2 月は子どもたちと様々な遊びを振り返りゆったり過ごせたらと思います。



## メッセージ

明けましておめでとうございます。昨年を振り返るとやはりあっという間に過ぎ去ってしまいました。自分自身のことになりますが、年齢的に健康に過ごせることが何よりうれしく日々感謝せねばと思い生活しています。園では子どもたちの成長を傍で感じながらマスクが取れた生活ってやっぱりいいなぁと思っています。マスクをしていると大人同士でも思いが伝わりにくかったり、表情が見えにくかったりと気を付けなければと悩むことも多くありました。大人がマスクをしていても子どもは想像力豊かに柔軟に生活していましたが、本来マスクのない生活が子どもにとって大切なことですので、この先悪影響がでないよう丁寧に関わっていきたいと思います。

寒い季節では感染症も流行り、感染症対策のためにまたマスクが必要となることもあります。それは一時的なことです。この数年で習慣化された「手洗い」「衛生管理」を引き続き徹底し子どもの健やかな成長を見守って行きたいと思います。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

主幹保育教諭 F

2023年は、これまでで一番暖かいのではと思うほど、稀にみる暖冬となりました。夏の日差しと暑さが苦手な私は、“この先、冬がなくなってしまうたらどうしよう…”と

思いながら、暖かい冬を過ごしています。ひかり・だいち組が毎年楽しみにしている雪あそびや、園庭での氷づくり、「ゆきやこんこ、あられやこんこ…」冬にまつわるうたの情景を思い浮かべることも、この先の子どもたちが変わらず経験できる未来であってほしいと願います。

さて、皆様どのようなお正月を過ごされましたか。2024年の年賀状では、だいちさんの想像した5匹の竜が、生き生きと空を泳いでいましたね。

うろこの表現も様々、絵の具やクレパスなど同じ道具を使っていますが、それぞれ異なる個性が溢れています。2024年も、子どもたち一人ひとりがのびのびと自らを表現出来る場をつくっていきたいです。

新たな年を迎えたかえで保育園では5匹の竜と共に、皆様と会えるのを楽しみにお待ちしております。本年もよろしくお願いいたします。

主幹保育教諭 K

## 保護者からのエピソード

お友だちと仲良く遊んだり、お兄ちゃん、お姉ちゃんに遊んでもらった、先生達とお遊戯したなど毎日楽しく学べているのを見ていて楽しいです。自己主張など、日々成長していることを実感しています。

めばえ・つぼみ組 みつるさん

ふたば組になってから歌もダンスもとっても上手になりました。仲良しのお友だちの名前も教えてくれます。毎日、先生とお友だちと楽しく過ごしているようで安心しています。

ふたば組 ゆかさん

小さい子の面倒を見るのが大好きな娘。お迎えに行くと、「今からめばえさんの所に行くのに！」と不満顔。家でも、弟の世話を進んでしてくれて、「お姉さんになったなあ」としみじみ感じます。

いぶき組 ゆうきさん

初めてのかえでフェスティバルでの歌や劇の発表でドキドキして見ていました。お友だちと仲良くみんなで協力している姿が微笑ましかったです。作品展はみんなそれぞれの好きな物をととても上手に表現されていて、見ごたえがあり感激しました。

いぶき組 ひろみさん

家では7歳離れたお兄ちゃんの弟で、従兄弟の中でも一番下で常にお兄ちゃん、お姉ちゃんに何かしてもらうことが多く、こちらもいつまでも小さい気でいました。保育園では自分より小さなお友だちを気遣ったり、一緒に遊んであげたりしている。というお話を聞いた時は、驚きと共に成長を感じました。自分よりも小さな子を思いやることは、家では経験できないので異年齢保育のおかげだと思います。いつまでもその思いやる心を忘れないで欲しいと思います。

だいち組 まいさん

園の鉄棒でたくさん練習して連続逆上がりができるようになり、週末に家族にも見せてくれます。雨の日は下駄が人気なんだよと楽しい園庭での様子も教えてくれます。

ひかり組 なつこさん



# 12月の子どもたちのようす

クリスマスツリーの飾りを作りました。

白いぼこぼこした紙にクレヨンで思い思いに描きその上にボンドを塗って毛糸をパラパラと落としました。落ちる様子を見ながら「わぁ～」と言いながら楽しみました。

風船で遊びました。ゆっくりと落ちてくる様子を楽しんだり、ぎゅっとすると跳ね返ったり、投げるとゆっくり進んでいったりする様子を楽しめました。

風船を投げたり、それを追いかけたり。少しずつお友だちと一緒に遊べるようになってきました。

絵本「おにぎりくんがね…」が大好きな子どもたち。

絵本の中の「しんばいごむよう！」などの言葉を覚えたり、ままごとの具材ではおにぎりのフェルトを用意しました。歌「あいうえおにぎり」を歌いながら、美味しいおにぎりを作っています。今回は実際に子どもたちとおにぎりを作ってみました。お米のいい香りをかぎながら、大きなおにぎりをほおばりました。これからも絵本や歌を通して、遊びを深めていきたいです。

園庭に出ると、どんぐりや落ち葉を見つけて、たくさん集めています。歌や絵本から自然物への関心が高まり、見つけると保育者に「どんぐり！」と教えてくれています。先日は、集めた自然物を使ってリースやモビールを作りました。集めた中からどれにしようかな…と選びながら、それぞれ素敵に仕上がりました。保育に飾っています。ぜひご覧ください。

昼寝後にひかり組のお兄さんお姉さんが起こしてくれ、一緒におやつを食べています。少し恥ずかしくて照れてしまったり、顔を見合わせて嬉しそうにする様子が見られました。異年齢で関わるができる機会を積極的に増やしていきたいです。

寒さが厳しくなり、「寒いね」「手が冷たいよ」と季節の変化に気がつく子どもたち。「暖かいところはどこかな？」と聞いてみると「ここ！」と部屋のひなたを探して「暖かいね」と友だちと寝転んで笑い合い、人の温もりを感じる様子が見られます。





12月の終わりにはみんなで大掃除をしました。1年間たくさん楽しんだかえで保育園をみんなで綺麗にしました。雑巾の絞り方をだいち組からひかり組、いぶき組のペアに教える姿などがありました。床を端から端まで雑巾がけをした後「こんなに汚くなった」と雑巾を保育者に見せ「もっと綺麗にしてくる」と隅々まで綺麗にしてくれました。「もういくつねると～」とお正月を楽しみにしている子ども達でした。2024年もたくさん楽しもうね。



初めての劇あそびは、人前で表現する恥ずかしさも感じながらでしたが、友だちと一緒に役になって楽しめました。いぶき組は役をイメージした被り物を作ることで、子どもたちは役になりきり「ぼくは〇〇だぞ」と子ども同士で言葉を掛け合う姿もありました。かえでフェスティバル後も、友だち同士で劇の話をしたり、動物になって楽しむ姿もあり、経験したことを友だちと共有し、心を通わせています。友達っていいな～の輪がたくさん広がりますように・・・



気温が下がってきていますが、子どもたちは元気に園庭遊びを楽しんでいます。一時期盛り上がっていた竹馬ブームが再来してきています。夏ごろには乗ることも難しかった子が、今では2歩3歩、前に進むことができるようになっています。前に進むことができるのが嬉しくて「先生、みててね」と何度も披露してくれる姿がとても微笑ましいです。難しくても何度も繰り返し挑戦して出来た時の達成感を味わう経験こそ、次へ進める自信に繋がっていきます。冷たかった手足も竹馬に何度も挑戦しいつの間にか体はぽかぽかになりました。



今月の絵画遊びでは、ウサギの絵と辰の絵を描くことを楽しみました。「今年はうさぎさんの年だったんだよ」「かわいい年だったのかな」「ぴょんぴょんしてたのかな」とそれぞれが思い浮かべる「うさぎ年」を友だちと話しながら描いていました。次の絵画では辰の絵を書くことに挑戦し、一足先にだいち組が辰を描いていたことを知っていた子が「めっちゃかっこいいねんで」「空飛んでたで!」とみんなに紹介すると「ええー! そうなん!?!」「すごい!」と興奮気味な子どもたち。少しいメージすることが難しかったですが、思い思いに描き個性豊かな辰が完成しました。

～今年は竜だ!～

絵画遊びで今年の干支『竜』をだいぼうけんのグループに分かれて書きました。

「竜って何?」「どこにいるの?」と不思議を感じながらもずは、1人1人が思い描いた竜を描きました。ワニみたいな口、鹿みたいな角、へびみたいに長い身体と想像を膨らませながら描いていました。グループに分かれて描く時は「頭から描く?体から描く?」「鱗はクレパスで描こう」とそれぞれ思い描いていた竜が1つの竜となって描かれました。







～“みんなで”足湯～

冬とは思えない程、暖かく過ごした12月中旬。園庭で鬼ごっこやリレーで身体をたくさん動かしながら過ごしました。夏にはミントやローズマリーを入れて楽しんだ、ひんやり冷たいドリンクタイム。足湯の季節になり、肌寒い日には園庭にある桜の葉っぱを見つけて「桜餅の匂いがする」「お湯に入れたらいいにおいするかな」と桜の葉とミントで足湯屋さんを開きました。「1人じゃなくて、だいちさんみんなで入りたいの」とだいち組の為に足湯を準備していた

Rちゃん。「あ～いい気持ち」「温かいのがいいよね」とそれぞれの感想に「みんなで入れてよかった」と一緒に入ること、誰かに入ってもらおうことを考えながら準備した足湯は、よりほっこりした気持ちになれたように感じます。「仲間っていいな～」がこれからもいろんな遊びで見つけていきたいです。

園庭の桜の葉っぱ



## お台所から

### 今月の食育活動

12月4日 手作りプリン

「プリン」に大喜びの子どもたち、子どもの前で型からプリンをポンっとだし、カラメルソースをかけたら出来上がり！と見せるとみんな「おー、すごい！」と歓声が上がりました。型からだす時に上手くいかないと、「おいしい！」の声、プルプルのおいしそうなおプリンがきれいにでてくると「成功だー！」と目の前にきれいに出来たプリンに大満足。そしてあまーい美味しいプリンを食べてうれしい瞬間です。



12月22日

展示食のボードで当時の紹介をしましたが、皆さんの目にはとまりましたか？

今年は22日の冬至の日にお昼はかぼちゃの煮物、おやつにゆず湯を出しました。その前日に「明日は冬至の日だよ」「みんな何の日か知ってる？」と各クラスにかぼちゃとゆずをもって紹介しに行きました。乳児クラスでは、「あれはなんだろう」と目を丸くさせて初めてのかぼちゃにびっくり！幼児さんに冬至のお話をしにいくと、「聞いたことあるよ」とみんな真剣に聞いてくれていました。そして、よくお話をきいてくれた子どもたちは、「説明できるよ」とつぼみ組に向かうだいちさん、かぼちゃとゆずを一人ひとりに見せながら、つぼみさんに冬至のお話をしてくれました。



12月25日

お楽しみメニューとして絵本の中にあるごはんやおやつを登場させたいなと思ったのがきっかけで“11匹のねことあほうどり”よりコロッケ、“しろくまちゃんのホットケーキ”よりホットケーキを出しました。

当日までに各クラスで絵本を読んだり、絵本を色んな所に飾ったりと様々な仕掛けをしていました。当日にお楽しみメニューを紹介するとみんなとっても喜んでくれました。ごはんを食べている様子を見に行くと、みんな「あほうどりのコロッケだよ！」と笑顔で「つくってくれてありがとう」と言ってくれました。



### 1月の献立・予定している食育活動

1月10日はお正月メニューとしておせちをイメージした筑前煮や紅白なます、おやつには七草がゆがでできます。子どもたちに七草や作る様子を見てもらいたいと思います。お楽しみに。

かえでフェスティバルに向けて子どもたちは劇あそびを楽しみたくさん楽器に触れました。子どもたちは「おきゃくさま」になって各クラスの劇や合奏を互いに鑑賞しあって楽しみました。だいち組の子どもたちが大きな声で堂々とセリフを言う姿やねずみばあさんが出てくる音楽が聞こえてくると「あ、ねずみばあさんだ」とワクワクした気持ちになっていました。また、だいちの子どもたちはいぶき、ひかりの「ももいろのきりん」を見て恥ずかしそうにしながらもセリフを一生懸命言う姿や嬉しそうに跳びはねて登場する友だちと見て「かわいい」と優しいまなざしで見っていました。だいち組への憧れを感じたり、小さいお友だちが頑張っている姿を見守っていてみんなで気持ちもほっこりできました。





# 12月のあそびへの思い

## めばえ

だんだん寒さが増してきました。冬の寒い日は気温と相談しながらも出来る限り外で身体を動かして遊べるよう工夫しています。園庭に出るときはなるべく日の当たる日向で遊ぶようにし、おぼつかなかった歩行も安定し友達同士で追いかっこをしたり、保育者の「よーいドン！」の声掛けで友達と笑顔でかけっこ。これからも体操等を楽しく踊りながら体を温め、身体を動かす心地よさを感じられるような遊びを取り入れていきます。

また、「ぶーぶー」や「まんま」など少しずつ発語も出てきているため、子どもたちが興味のあるものから発語を促すことができるように、絵本や歌を歌いながら過ごしていきたいと思います。

## ふたば

冷たく澄んだ空気が清々しい新年を迎えました。また新たな気持ちで1年過ごしていきたいです。秋ごろから大切に育ててきたブロッコリーにいよいよ芽が出ました。子どもたちは4つの芽が出ているブロッコリーを見ると、「おおきいね！」「こっちはちいさいね」等、大きさやそれぞれの違いを触って確かめながらじっくりと観察しています。「たべたい！！」と目を輝かせながら日々ブロッコリーの成長を見守っています。とうもろこし、おくら、ブロッコリーと様々な野菜を育てると中で、成長に気付いたり、お世話をする楽しさを感じたりと子どもたちも沢山の気づき、発見がありました。ふたば組で過ごす残りの3か月も、子どもたちと様々な活動を振り返りながら楽しみたいです。



## つぼみ

新年が始まりました。気持ちも新たに、子どもたちと共に日々楽しく過ごしてまいります。

先日のかえでフェスティバルではお忙しい中ご参加くださり、ありがとうございました。つぼみ組になった春の時期から「はらぺこあおむし」の絵本をみたり、歌を歌ったりして親しんでいくうちに、みんなの大好きな絵本となっていました。また、夏にだいち組の子どもたちが人形劇を見た経験から、つぼみ組のために「はらぺこあおむし」のペープサートをしてくれました。つぼみ組の子どもたちは自然と口ずさんであおむしの世界に夢中な様子です。かえでフェスティバル当日、舞台の前にだいち組手づくりのあおむしペープサートを仕切りとして設置しました。みんなの大好きな「はらぺこあおむし」を色々な形で表現し、楽しむことができ嬉しく思います。

残りつぼみ組で過ごすのも3ヶ月となりました。子どもたちの成長を見守りながら、一日一日を大切に過ごしまだまだ楽しい思い出をたくさん作っていききたいです。

## いぶき

かえでフェスティバルでは、子ども達の作品や発表を通して自由に表現する様子を見ていただくことができました。今後も一人ひとりの興味を継続してじっくりと楽しめるように見守っていきます。劇あそびでは、ひかり組のペアのお兄さん、お姉さんと一緒に舞台に出ることで緊張感を味わいながらも安心して楽しむことができました。かえでフェスティバル後の翌週、だいち組の劇をみんなで見ました。「楽しかった」「だいちさんってすごいね」と保育者や友だちと話をしていました。だいち組と一緒に過ごす時間も残り3ヶ月。毎日お世話をしてくれたことや優しくしてもらったことなど、子どもたちと振り返りながら、一緒に過ごす時間を大切に過ごしていきたいです。

## ひかり

あっという間に年が過ぎ、新しい一年が始まりました。今年もどうぞ、よろしくお願いいたします。さて、先日のかえでフェスティバルでは、作品、合奏、劇で子どもたちの成長を感じていただけましたでしょうか？劇あそびが始まった当初は、恥ずかしい気持ちと葛藤しながら前に出ていましたが、本番は堂々とした表情・声で見てくれている方々に「届けよう」とする姿を見せてくれました。本番前に不安そうにしている友だちに対して「大丈夫だよ、みんなもいるから」と子どもたち同士で励まし合う様子には私自身も勇気づけられました。たくさんの保護者の方の前に立って最後まで成し遂げることができたことは、きっと子どもたちにとっていい経験となったと思います。また一回り大きくなったひかり組の子どもたちと、2024年も毎日笑って楽しく元気に過ごせるよう盛り上げていきます。

## だいち

2023年はだいち組になり『ひみつの時間』に話し合って進めた甲山や夙川探検、プラネタリウム、廃線跡と目的をもって出かけた先であった出来事をみんなで楽しんだ1年となりました。かえでフェスティバルでは、園での日常の様子やみんなで経験したことを振り返る機会にもなり、だいち組が『仲間』として意識する大切な時間と子ども同士の関わりもより深まってきました。また、友だちが作品や劇遊びや合奏で表現する様子の『いいところ』を見つけて褒めたり、羨ましい気持ちをもったり、自分で工夫し考えたり自信をもつ機会にもなりました。

いよいよ2024年になり保育園生活としてはあと3ヶ月程となります。まだまだ挑戦したいこと、みんなで叶えたいことを自分の素直な気持ちを表現できることを大切にすると共に、周りの人への感謝の気持ちを感じ伝える機会が増えるよう過ごしていきたいと思います。

## はまかせ

朝晩の気温がぐっと下がり空気の冷たさを感じる季節となりました。子どもたちは園庭に出る前に足湯をしたり、音楽に合わせて身体を動かすことを楽しんでいます。そんな中、子どもたちは今日も築山の上に集まり「こおりおにごしゅうごう～」と呼びかけ一緒にあそび友だちを集めています。初めはだいち組の子ども達だけでしたが、次第にひかりや時にはいぶきの子ども達も一緒に参加するようになりました。鬼を決める時はみんな片足を出します。だいちの子どもが「いろはにほへと…」と順番に指差ししながら鬼と逃げる人を決めていきます。鬼にあたった子どもは「やった」と喜び子もいれば不安そうな表情で「おにはいや」と言う子もいます。そんなとき年上の子ども達が「じゃあ、かわってあげよか？」「おにをもうひとりふやそう」など提案していきます。不安そうな表情だった子どもはみんなの提案を聞いてホッとした表情になっていました。「さあ、はじめるよ」元気な声が響く園庭で今日も氷鬼がスタートします。

